

## 第1回大村智自然科学賞 受賞者の紹介

### 中学校部門

さとう みずき

北杜市立甲陵中学校 3年 佐藤 瑞木 さん

#### 【主な受賞歴】

平成28年度山梨県児童・生徒理科自由研究発表会優秀賞

平成27年度山梨県児童・生徒理科自由研究発表会優秀賞

平成25年度山梨県児童・生徒理科自由研究発表会優秀賞

#### 【研究テーマ】 「尾白川流域に住む動物の肩甲骨」

#### 【研究内容】

尾白川流域で見つけた動物の死骸を骨になるまで土に埋め、掘り出した骨格を観察する研究を4年間継続して行った。動物の習性によって肩甲骨の形が違うことに興味を持ち、生態との関係を考察した。更に、骨格として得た6種類の動物の肩甲骨の観察結果を基に、新たに埋めたネズミの肩甲骨の形を予想し、掘り出した実物と比較し検証した。

### 高校部門

おざわ よしひろ

山梨県立韮崎高等学校 3年 小澤 佳弘 さん

#### 【主な受賞歴】

平成28年度SSH 生徒研究発表会・審査委員長賞（無機化学部門全国1位）

#### 【研究テーマ】 「濃硫酸と希硫酸の境目はどこにあるのか？」

#### 【研究内容】

教科書に記述されている濃硫酸と希硫酸の性質の違いから「濃硫酸と希硫酸の境目はどこにあるのか？」という素朴な疑問を持ち、2年以上の時間を費やして研究を行った。研究過程においては自ら教科書を深く読み込み、仮説をたて、自前で実験装置を作ったり、スマホのアプリを利用するなど、工夫を凝らして論理的に探究した。